特集 Special Feature

老健施設の家族支援の可能性

多様化する家族介護者を支える

介護は本人の自立支援のために行うものだが、その家族も本人を支える一員であり、老健施設が向き合うべき相手といえる。仕事をしながら介護をするビジネスケアラー、介護と育児を行うダブルケアラー、高齢者が高齢者を介護する老老介護など、介護者が多様化する現在、老健施設の家族支援の可能性について考える。特集では、17年にわたって家族介護者を支援している川内潤さんと、家族会をはじめ時代に合った家族支援に取り組む老健施設「くるみ館」を取材した。

インタビュー

介護に直面する前からの支援が大事 専門職として本人のニーズを第一に

川内　潤さん
NPO法人となりのかいご 代表理事

レポート

10年間続けてきた家族会 仕事との両立支援や地域展開も進める

介護老人保健施設くるみ館（茨城県）